

Laser Contest 9th Final 2014.12.06 Sat

Laser Contest とは

レーザーコンテストは、レーザー加工機というパーソナルファブリケーションツールを活用して、応募者が描いたイメージや思いをテーマに応じて具象化した作品のコンテストです。昨年度は規定テーマに「デジタルサイネージ」をあげましたが、第9回目にあたる今年度は大きく趣を変え、「動き」をテーマに設定しました。小学生から大学生、一般社会人まで幅広い層から応募していただき、デザイン性や生産性に不安がある作品でも発想や着眼点に優れたものは高く評価したいと考えています。とくに今回からは、優秀な作品はFDAがサポートさせていただき、応募者の方と協力して商品化へのプロデュースをおこないます。

最終プレゼンテーション・懇親会

株式会社東京・森と市庭 西原 啓史氏によるものづくりセミナー

Part.1 最終プレゼンテーション

開会挨拶、審査員紹介、一次審査通過者によるプレゼンテーション
時間：13:00～15:30 会場：紅葉館（ログハウス）



Part.2 西原 哲史 氏によるものづくりセミナー

「森の資源とモノづくりの新しい出会い」
時間：15:30～16:30 会場：紅葉館（ログハウス）



Part.3 表彰式 懇親会パーティー

審査員長による講評、各賞発表及び授与、懇親会、閉会の挨拶
時間：17:00～19:00 会場：学生食堂「グランエターナ」



※写真は前回の様子です。

ものづくりセミナー

「森の資源とモノづくりの新しい出会い」

講演：株式会社東京・森と市庭 取締役 西原 啓史 氏

西原 哲史：林業、木材流通のコンサルティングを経て、自治体・地域住民との合併による地域木材商社「西栗倉・森の学校」の設立支援に関わる。2013 年から奥多摩での新しい事業（会社）に参画中。

林業の衰退と森林資源の劣化が叫ばれて久しくなりましたが、近年、各種補助金や法令整備など国の支援により、大規模建築物などへの国産材の活用が拡がりつつあります。一方で、消費者ニーズは、デジタルファブリケーションの普及やリノベーション市場の拡大など、より個人のライフスタイルや価値観を重要視する方向に移ってきています。このような社会変化の中で、林業・木材業の新しい「カタチ」を模索、奮闘する奥多摩での事業活動の様子をご紹介します。

- 開 催 日 平成 26 年 12 月 6 日（土）
- 会 場 拓殖大学八王子キャンパス紅葉館
〒193-0985 東京都八王子市館町 815-1
- 交 通 JR 中央線 / 京王線 高尾駅南口から拓殖大学行京王バス乗車 10 分 ※タクシーで 1,000 円以内
- 申 し 込 み 電話、mail、もしくは下記 URL よりお申し込み下さい。
方 法 http://fabdesign.or.jp/contest_form.html
- お 問 合 せ 一般社団法人ファブデザインアソシエーション 事務局
原田 陽介
TEL:080-5646-1313
E-mail:harada@fabdesign.or.jp